

国立大学図書館協会 平成 23 年秋季理事会議事要旨

日 時：平成 23 年 12 月 1 日（木） 14：00～17：00

場 所：広島大学図書館 ライブラリーホール

出席者：別紙のとおり

1. 開会

古田会長（東京大学・館長）から、大阪大学では 8 月 26 日付で東島館長が新館長に就任したことの紹介があった。続いて、国立情報学研究所学術基盤推進部の青木次長、鈴木学術コンテンツ課長、尾城図書館連携・協力室長にご出席いただく旨、紹介があった。

2. 会長挨拶

古田会長（東京大学・館長）による開会の挨拶が行われた。

3. 前々回及び前回議事要旨の確認

古田会長から、第 58 回総会（H23.6.16・グランドプリンスホテル広島）議事録は既にご承認いただき協会ホームページに掲載済みである旨説明があり、新理事会（23.5.13・東京大学）及び総括理事会（H23.6.16・グランドプリンスホテル広島）の議事録（案）について、朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの説明があった。

4. 報告事項

(1) 第 58 回総会等について

当番地区の理事館である広島大学・甲斐副図書館長から、配付資料（No.1）に基づき、総会全体に関する報告及び収支報告があり、来年度の総会運営の参考とすることとなった。

続いて、古田会長から、総会ワークショップ報告については、企画担当館に議事要旨（資料 No.2-1,2）をまとめていただいているので、お読みいただきたいとの説明があった。

(2) 各委員会等報告

1) 総務委員会

京都大学・栃谷事務部長（総務委員会委員）から配付資料（No.3）に基づき、理事、監事の選出、任期等について、「委員会の設置について（申し合わせ）」及び関連事項について等の検討経過について報告があった。また同委員会からの提案事項については後ほど協議をお願いしたい、との説明があった。

2) 人材委員会

東北大学・野家館長（人材委員会委員長）から配付資料（No.4-1～2）に基づき、本年度の人材委員会の開催について報告があった。また、東北大学・片山事務部長（人材委員会・人材育成事業グループ主査）から第7回マネジメント・セミナーの開催、平成23年度海外派遣事業の実施等について報告があり、大阪大学・石井事務部長（人材委員会・人事政策デザイングループ主査）から図書館職員の人事政策課題に関する提言作成の進捗状況について報告があった。

3) 学術情報委員会

名古屋大学・松浦館長（学術情報委員会委員長）から、配付資料（No.5）に基づき、委員会の活動内容について報告があった。国際ILLに関するGIFプロジェクトチームや、学術情報の利用促進と保存プロジェクトチームの活動、学術情報システム検討小委員会報告書「電子環境下における今後の学術情報システムに向けて」（当日配付資料）について説明があった。また、国立大学図書館協会シンポジウム「電子書籍と大学図書館」（H23.11.25・京都大学）の開催について報告があった。

4) 学術情報流通改革検討特別委員会

東京大学・高橋情報管理課長（学術情報流通改革検討特別委員会事務局）から、配付資料（No.6）に基づき、電子ジャーナル契約状況調査結果の公開、シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して 5～電子ジャーナルバックファイルの基盤整備（仮）～」（H24.2.7に東京大学で開催予定）の企画案等について説明があった。

(3) 地区助成事業申請状況報告

事務局（東京大学・木村総務課長）から、配付資料（No.7）に基づき、平成23年12月1日現在の申請状況について報告があった。

(4) 各地区協会報告

特になし。

(5) 国公立大学図書館協力委員会報告

筑波大学・熊淵情報サービス課長（国公立大学図書館協力委員会常任幹事館）から、配付資料（No.8）に基づき、国公立大学図書館協力委員会の活動内容について報告があった。大学図書館シンポジウム、国立国会図書館との博士論文の著作権処理作業の進捗状況等について説明があった。

(6) 日本図書館協会関連報告

筑波大学・熊淵情報サービス課長（日本図書館協会大学図書館部会）から、配付資料（No.9）に基づき、日本図書館協会大学図書館部会の活動内容について報告があった。

全国図書館大会多摩大会、大学図書館シンポジウム、公益法人への移行準備等について説明があった。

(7) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告

国立情報学研究所学術基盤推進部・尾城図書館連携・協力室長（大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）事務局）から、配付資料（No.10）に基づき、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動内容について報告があった。来年度の契約に向けての出版社交渉の進捗状況等について説明があった。

(8) その他

特になし。

5. 協議事項

(1) 大学図書館の「教育学習支援」に関する委員会設置について

京都大学・栃谷事務部長（総務委員会委員）から、配付資料（No.11）に基づき、大学図書館の「教育学習支援」に関する委員会設置について提案があった。

協議の上了承され、総務委員会が準備を進めることとなった。

(2) 平成 24 年度マネジメント・セミナーについて

東北大学・片山事務部長（人材委員会・人材育成事業グループ主査）から、当日配付資料に基づき、平成 24 年度国立大学図書館協会マネジメント・セミナーの企画について提案があり、協議の上了承され、人材委員会が準備を進めることとなった。

(3) 平成 24 年度の海外派遣事業の実施について

東北大学・片山事務部長（人材委員会・人材育成事業グループ主査）から、配付資料（No.12）に基づき、平成 24 年度事業の実施案等について説明があり、協議の上了承され、人材委員会が準備を進めることとなった。また、平成 25 年度以降の財源を含めた実施体制については、総務委員会とも調整の上検討することとなった。

(4) JUSTICE の安定的・持続的な活動について

筑波大学・関川副館長（大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）運営委員会委員長）から、配付資料（No.13-1～2）に基づき、今後の JUSTICE を安定的・持続的に運営するための活動経費や人員の確保策等について説明があった。

協議の結果、理事会で出された議論を踏まえ、論点、意見を事務局が整理した文書を理事館宛に送付することとし、配付資料（No.13-1）と合わせて各地区の事務連絡会議において説明を行い、意見交換してもらうこととなった。会員館からの意見は、1 月をめぐりに各地区でとりまとめて事務局に報告してもらうこととなった。

6. その他

古田会長から、新理事会議事要旨（案）、総括理事会議事録（案）について、訂正等がないか確認があり、案のとおり承認された。

続いて、国立情報学研究所学術基盤推進部・鈴木学術コンテンツ課長から配付資料に基づき、CiNii Books の公開、及び共用リポジトリサービスに係る説明会開催について報告があった。

7. 閉会

国立大学図書館協会
秋季理事会出席者

平成23年12月1日(木)

14:00~17:00

広島大学図書館ライブラリーホール

北海道大学	館長 事務部長 管理課長	新田孝彦 藏野由美子 杉田福夫
北見工業大学	館長 情報図書課長	吉田孝 片桐和子
東北大学	館長 事務部長 総務課長	野家啓一 片山俊治 米澤誠
福島大学	館長 学術情報課長	高橋隆行 高橋喜一
筑波大学	館長 副館長 情報サービス課長	波多野澄雄 関川雅彦 熊渕智行
千葉大学	館長 学術情報課長	竹内比呂也 島文子
東京大学	館長 事務部長 総務課長 情報管理課長	古田元夫 田中成直 木村優 高橋努
一橋大学	館長 学術情報課長	江夏由樹 渡邊俊彦
名古屋大学	館長 事務部長 情報サービス課長	松浦好治 加藤信哉 岡部幸祐

岐阜大学	館 長 副図書館長・学術国際部長 情報サービス課長	小見山 章 木 村 晴 茂 安 田 眞由美
京都大学	事 務 部 長 総 務 課 長 情 報 管 理 課 長	栃 谷 泰 文 木 下 聡 大 西 直 樹
大阪大学	事 務 部 長 図 書 館 企 画 課 長 利 用 支 援 課 長	石 井 道 悦 白 木 俊 男 奥 田 正 義
広島大学	館 長 副 図 書 館 長 図書学術情報企画グループリーダー 図書学術情報整備グループリーダー 図書学術情報普及グループリーダー	富 永 一 登 甲 斐 重 武 藤 井 明 松 本 秀 毅 江 森 早 穂
高知大学	図 書 部 門 長 研 究 協 力 部 長 学 術 情 報 課 長	池 田 和 夫 松 村 仁 松 山 郁
九州大学	館 長 事 務 部 長 図 書 館 企 画 課 長	川 本 芳 昭 濱 崎 修 一 飯 田 昇 平
鹿児島大学	館 長 学 術 情 報 部 長	井 上 佳 朗 長 友 良 維
(監事館)		
横浜国立大学	館 長 図 書 館 ・ 情 報 部 長 図 書 館 情 報 課 長	福 富 洋 志 白 石 光 雄 横 山 敏 秋
岡山大学	館 長 事 務 部 長 情 報 管 理 課 長	神 崎 浩 富 田 健 市 大 元 利 彦

(オブザーバ)

国立情報学研究所
学術基盤推進部

次 長
学術コンテンツ課長
図書館連携・協力室長

青 木 利根男
鈴 木 秀 樹
尾 城 孝 一